

高校部活動の女子マネージャーというキャラクターの特性

The characteristic of a character called the woman manager of high school part activity

1K08B502-6 佐藤 恵梨

指導教員 主査 木村和彦先生 副査 寒川恒夫先生

【目的】

リーダーシップに関する研究は多々あるが、リーダー以外に焦点を当てた研究はいまだ少ない。しかし筆者の体験から、強いチームではリーダーだけではなくサポートする者や土台がしっかりしていると考えられる。では、具体的に強いチームのマネージャーはどのような人物なのだろうか。この疑問を解決するため、本研究では、「強いチームの女子マネージャーにはどのような特性があるか」を調査する。

【方法】

本論文では、セリフと行動から、高校部活動女子マネージャーとして描かれているキャラクターの特性について読み取る。以上の目的を達成するため、3人のモデルを選出し、大きく以下の3工程で研究を進める。

- ① それぞれの人物の全てのセリフと、行動や性格、仕事などがわかる項目を抜き出す。
- ② ①で抜き出したものを KJ 法によって分類する。
- ③ 分類したものを、それぞれの項目で占めるパーセンテージを割り出す。それを元に研究対象人物それぞれのタイプを規定する。

【結果・考察】

選出した3人のモデルのセリフ・行動を抽出・分類した結果、それぞれの上位3項は以下ようになった。

彩子…410項目(セリフ)→8項(分類)、七尾奈緒…816項目→5項、篠岡千代…223項目→6項

	彩子	七尾奈緒	篠岡千代
1	モチベーシ ョン 27.07%	コミュニケ ーション 42.54%	仕事 31.84%

2	把握 18.05%	指示 20.59%	コミュニケ ーション 29.15%
3	叱る・注意す る・指導する 17.56%	把握 17.89%	円満 14.35%

KJ法による分類の結果、上位3項でそれぞれ彩子約63%、七尾奈緒約80%、篠岡千代約75%という高い割合を占めていることがわかった。その中でも『コミュニケーション項』と、選手の能力や状態などを知っている『把握項』が共通して上位へ来ている。

【結論】

それぞれタイプは異なるが、それぞれの所属チームの現状や背景を照らし合わせてみると、選手や監督だけでは足りない役割を補っていることがわかった。

また、3人に共通して「コミュニケーション項」が挙げられ、まさに求められている能力かどうかはえる。コミュニケーションがとれるというのはマネージャー以外にも求められるものであるが、様々な人間をサポートする以上、他の者よりもそれが顕著に求められるのであろう。もちろん、これだけでは、「強いマネージャー」とは言えないだろう。しかしながら、コミュニケーションが取れる人ならば他のスキルも身につけていくし、仕事は覚えればよい。コミュニケーションを取るといことは、全ての基本であるのではないだろうか。

以上、強いチームの女子マネージャーの特性は「コミュニケーション能力に優れる」ことであり、チームを支える人となるには「コミュニケーション能力を身につけること」が大事だと考える。